

宮城県公報

行 政
宮 城 県
(総務部県政情報・文書課)
宮城県仙台市青葉区
本町三丁目8番1号
電話 022(211)2267
(毎週火、金曜日発行)

目 次

ページ

告 示

- 平成十九年宮城県告示第三百十八号（漁業災害補償法に基づく漁業共済に係る加入区の設定）の一部改正
(水産業基盤整備課) 一
- 知事管理量に係るくろまぐろの採捕の停止
(森林整備課) 四
- 保安林の指定の解除
(道路課) 五
- 道路の区域変更
(河川課) 五
- 海岸保全区域の変更（三件）
収用委員会
- 一般国道三百九十八号雄勝1号事件裁決手続開始決定
正 誤 一五
- 宮城県公報第六六号（令和元年十二月二十七日付け）中 一六

告 示

○宮城県告示第六十四号
平成十九年宮城県告示第三百十八号（漁業災害補償法に基づく漁業共済に係る加入区の設定）の一部を次のように改正し、令和二年一月二十八日から施行する。

令和二年一月二十八日

宮城県知事 村 井 嘉 浩

法第百四条第二号に掲げる漁業の表気仙沼市区域（宮城県漁業協同組合の唐桑支所の地区）の項中

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることを目的とする漁業
- 2. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をと

ることを目的とする漁業

3. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業

4. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業

5. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から4に掲げる漁業並びに樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業

6. 小型定置漁業

7. 大型定置漁業

を

1. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していることを目的とする漁業又はこれらを併せ含む漁業

2. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業

3. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業

4. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から3までに掲げる漁業及び樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業

5. 小型定置漁業

6. 大型定置漁業

に改め、同表気仙沼市区域

（宮城県漁業協同組合の気仙沼地区支所の地区のうち鹿折の区域）の項中

1. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることを目的とする漁業

を

1. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していることを目的とする漁業又はこれらを併せ含む漁業

に改め、同表気仙沼市区域

（宮城県漁業協同組合の大谷本吉支所の地区のうち本吉出張所以外の区域）の項及び気仙沼市区域（宮城県漁業協同組合の大谷本吉支所の地区のうち本吉出張所の区域）の項中

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用しているさだをとることを目的とする漁業
- 2. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業
- 3. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
- 4. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から3までに掲げる漁業及び棒受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
- 5. 小型定置漁業

や

宮城県三陸地区

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用しているさだをとることを目的とする漁業、敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業又はこれらを併せ営む漁業
- 2. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
- 3. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1及び2に掲げる漁業並びに棒受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
- 4. 小型定置漁業

(宮城県東部漁獲調整区域)の区域

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用しているさだをとることを目的とする漁業
- 2. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業
- 3. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業
- 4. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
- 5. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から4までに掲げる漁業及び棒受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
- 6. 小型定置漁業
- 7. 大型定置漁業

や

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用しているさだをとることを目的とする漁業、敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業又はこれらを併せ営む漁業
- 2. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業
- 3. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
- 4. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から3までに掲げる漁業及び棒受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
- 5. 小型定置漁業
- 6. 大型定置漁業

宮城県三陸地区

(宮城県東部漁獲調整区域)の区域

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用しているさだをとることを目的とする漁業
- 2. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業
- 3. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業
- 4. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
- 5. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から4に掲げる漁業並びに棒受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
- 6. 小型定置漁業 (9ヵ月未満)
- 7. 小型定置漁業 (9ヵ月以上)
- 8. 大型定置漁業

や

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用しているさだをとることを目的とする漁業、敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業又はこれらを併せ営む漁業
- 2. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業

3. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
4. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から3までに掲げる漁業及び樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
5. 小型定置漁業（9カ月未満）
6. 小型定置漁業（9カ月以上）
7. 大型定置漁業

「 城県漁業協同組合の北上町十三支所、河北町支所、雄勝町東部支所及び雄勝町雄勝湾支所の地区）の項中

1. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることとする漁業
2. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業

や

1. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していることとする漁業又はこれらを併せ営む漁業

「 同表石巻市区（宮

城県漁業協同組合の釜淵漁業支所の地区）の項中

2. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることとする漁業
3. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業
4. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業
5. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
6. 小型合併漁業（主として刺し網を営む漁業）
7. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から6までに掲げる漁業及び樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
8. 小型定置漁業

や

「 同表石巻市区（宮

2. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していさだをとることを目的とする漁業又はこれらを併せ営む漁業
3. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業
4. 総トン数10トン未満の漁船により刺し網を使用して行う漁業
5. 小型合併漁業（主として刺し網を営む漁業）
6. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から5までに掲げる漁業及び樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
7. 小型定置漁業

「 同表石巻市区（宮

城県漁業協同組合の谷川支所の地区のうち釜淵の区域）の項及び石巻市区（宮城県漁業協同組合の谷川支所の地区の区域）の項中

2. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることとする漁業
3. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業
4. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業
5. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から4までに掲げる漁業及び樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
6. 小型定置漁業

や

2. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していることとする漁業又はこれらを併せ営む漁業
3. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによっていかをとることを目的とする漁業
4. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から3までに掲げる漁業及び樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
5. 小型定置漁業

「 同表石巻市区（社

鹿漁業協同組合の地区)の項中

- 3. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることを目的とする漁業
- 4. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業
- 5. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から4に掲げる漁業並びに樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
- 6. 小型定置漁業
- 7. 大型定置漁業

を

- 3. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していることを目的とする漁業又はこれらを併せ営む漁業
- 4. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から3までに掲げる漁業及び樺受網を使用してさんまをとることを目的とする漁業以外の漁業
- 5. 小型定置漁業
- 6. 大型定置漁業

に改め、同表石巻市区域(宮

城県漁業協同組合の網地島支所及び表浜支所の地区)の項中

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることを目的とする漁業
- 2. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業

を

- 1. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していることを目的とする漁業、敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業又はこれらを併せ営む漁業

に改め、同表女川町区域(宮

城県漁業協同組合の女川町支所の地区)の項中

- 4. 総トン数20トン未満の漁船により船びき網又はすくい網を使用していることを目的とする漁業
- 5. 総トン数20トン未満の漁船により敷網を使用して小女子をとることを目的とする漁業

ることを目的とする漁業

- 6. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによつていかをとることを目的とする漁業
- 7. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から6に掲げる漁業以外の漁業
- 8. 小型定置漁業

を

- 4. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、船びき網若しくはすくい網を使用していることを目的とする漁業又はこれらを併せ営む漁業
- 5. 総トン数20トン未満の漁船により釣りによつていかをとることを目的とする漁業
- 6. 総トン数20トン未満の漁船により行う漁業であつて、1から5までに掲げる漁業以外の漁業
- 7. 小型定置漁業

に改める。

〇宮城県告示第六十五号

知事管理量に係るくろまぐろの採捕の停止に関する規則(平成三十一年宮城県規則第十号)第二条第一号に規定する県計画において定める漁船漁業等に係る三十キログラム以上のくろまぐろの採捕の数量が、当該くろまぐろの管理期間(平成三十一年四月一日から令和二年三月三十一日まで)における知事管理量を超えるおそれが著しく大きいと認めるので、同規則第三条第二号の規定により告示する。

なお、この告示に係る当該くろまぐろの採捕の停止期間は、令和二年一月二十八日から令和二年三月三十一日までとする。

令和二年一月二十八日

宮城県知事 村 井 嘉 浩

〇宮城県告示第六十六号

森林法(昭和二十六年法律第二百四十九号)第二十六条の二第一項の規定により、次のように保安林の指定を解除する。

令和二年一月二十八日

宮城県知事 村 井 嘉 浩

一 解除に係る保安林の所在場所

本吉郡南三陸町戸倉字小浜四九の二、四九の三

二 保安林として指定された目的
魚つき

三 解除の理由

指定理由の消滅

○宮城県告示第六十七号

道路法（昭和二十七年法律第八十号）第十八条第一項の規定に基づき、次のように道路の区域を変更したので告示する。

その関係図面は、令和二年一月二十八日から三十日間宮城県庁（土木部道路課）及び宮城県東部土木事務所において一般の縦覧に供する。

令和二年一月二十八日

宮城県知事 村 井 嘉 浩

一 道路の種類 県道

二 路線名 女川牡鹿線

三 道路の区域

変更の区間		変更前後		備考
後	前	敷地の幅員 (メートル)	敷地の延長 (メートル)	上記A及びBは、関係図面に表示する敷地の区分をいう。
B	A			
一三・五〇 一八・〇〇	一三・五〇 一八・〇〇	一三・五〇 一八・〇〇	一四二・五	
一三・五〇 一六・二二	一三・五〇 一八・〇〇	一三・五〇 一八・〇〇	一四二・五	
			一五二・七	

○宮城県告示第六十八号

海岸法（昭和三十一年法律第百一号）第三条第一項の規定により、昭和五十年宮城県告示第十二百六十七号で指定した海岸保全区域を、次のとおり変更する。

なお、その関係図面は、宮城県庁（土木部河川課）及び宮城県気仙沼土木事務所に備え置いて縦覧に供する。

令和二年一月二十八日

宮城県知事 村 井 嘉 浩

海岸の名称	大分類	中分類	小分類	指定区域
	三陸南沿	唐桑海岸	田の浜地区海岸	
基点A点	基点B点	基点C点	基点D点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ア)点	(イ)点	(ウ)点	(エ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(カ)点	(ク)点	(ケ)点	(コ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ク)点	(ケ)点	(コ)点	(サ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ケ)点	(コ)点	(サ)点	(セ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(コ)点	(サ)点	(セ)点	(ス)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(サ)点	(セ)点	(ス)点	(シ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(セ)点	(ス)点	(シ)点	(ソ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ス)点	(シ)点	(ソ)点	(タ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(シ)点	(ソ)点	(タ)点	(チ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ソ)点	(タ)点	(チ)点	(ツ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(タ)点	(チ)点	(ツ)点	(テ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(チ)点	(ツ)点	(テ)点	(ト)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ツ)点	(テ)点	(ト)点	(ナ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(テ)点	(ト)点	(ナ)点	(ニ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ト)点	(ナ)点	(ニ)点	(ノ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ナ)点	(ニ)点	(ノ)点	(ネ)点	宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ニ)点	(ノ)点	(ネ)点		宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ノ)点	(ネ)点			宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒
(ネ)点				宮城県気仙沼市唐桑町上鮎立二百七番一地先の北緯三八度五三分一秒

○宮城県告示第七十号

海岸法（昭和三十一年法律第百一号）第三条第一項の規定により、昭和五十年宮城県告示第千二百六十七号で指定した海岸保全区域を、次のとおり変更する。

なお、その関係図面は、宮城県庁（土木部河川課）及び宮城県気仙沼土木事務所に備え置いて縦覧に供する。

令和二年一月二十八日

宮城県知事 村 井 嘉 浩

Table with 18 columns and 18 rows of geographical coordinates (latitude and longitude) for various points along the coast. Includes labels like '順座標結はん世線に測り系に閉まれた区域' and points A through S.

Table with 3 columns: 海岸の名称 (Coast Name), 大分類 (Major Classification), 中分類 (Medium Classification), 小分類 (Minor Classification), 指定区域 (Designated Area). Lists coastal areas like '三陸南沿', '歌津海岸', and '館浜地区' with their respective coordinates and designations.

(注) 別表については、当委員会事務局に備え置いて縦覧に供する。縦覧時間は、宮城県の執務時間を定める規則（平成元年4月1日宮城県規則第45号）に規定する県の執務時間とする。

5 土地に関して所有権以外の権利を有する関係人の氏名、住所及びその権利の種類なし

6 裁決手続の開始を決定した年月日
令和2年1月17日

正 誤

○宮城県公報第六六号（令和元年十二月二十七日付け）中

ページ	段	行	正	誤
三	下	七	(一) 次の森林については、主伐は、択伐とする。 字日蔵第二 三の三（次の図に示す部分に限る。）	(一) 主伐に係る伐採種は定めない。
		八	(二) その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない。	(二) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
		一〇	(三) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。	(三) 主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
			(四) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。	(四) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。